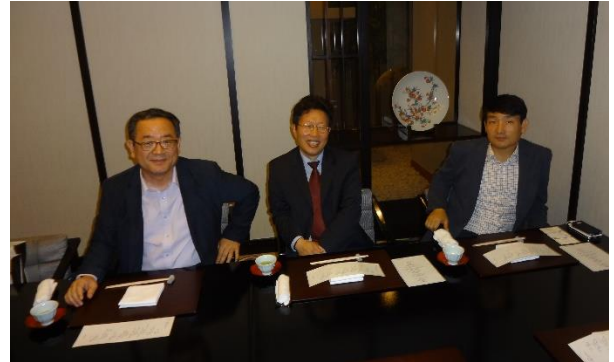




## 2015.10.22 韓国、政府会計財政戦略センター所長来訪

10月22日(木)、韓国財政研究院の政府会計財政戦略センター(The Government Accounting and Finance Statistics Center) 所長キム・ウォンヒ Kim Wanhee 博士(中央)と同センター研究員スングホ・ジョング Seong-ho Jeong 博士(右)が東京で開催される会計学会出席のため来日された。



同研究院、行政評価運営センターの元鍾鶴 Jong-Hak Weon 博士(左)も財務省訪問のため来日され、夕食をはさみ、日韓事情の情報交換を行った。元鍾鶴博士は未来を創る財団の評議員。

経済ジャーナリスト磯山友幸氏、(公財)日本国際交流センターのプログラム・アソシエーター李恵珍女史に出席いただき、未来を創る財団からは麻植 茂事務局長が出席。

今回、キム所長とジョング博士の訪日もう一つの目的、政府会計(わが国では公会計)の日韓比較につき、磯山友幸氏から日本の現状と環境に関する概括を説明いただいた。

韓国の政府債務の GDP 比率は 36.5%(2013 年現在、<http://goo.gl/ISivJW> 参照)と低い、少子化はやがて日本に追いつく可能性があり、官民の関心と危機感が高い由。

会食後の雑談、若者の晩婚非婚問題、家賃と教育費の圧迫を考え現実的(金銭的)選択が少なくないと話題。女性の立場も格段に強くなり、年2回の先祖祭りに実家へ帰り毎回のお祭りに女性は大変な労力を要するので、夫はみな小さくなって生活していると、昨今の事情。情報交換、共有の大切さ、相互に敬意をもって接する重要性を再認識。

一行は明日、日本公認会計士協会を訪問し、情報交換の予定。

